

広島県 三原市 移住・定住 ガイドブック



あなたの理想の
ライフスタイルを
探してみよう。

まち暮らし
さとやま暮らし
しま暮らし

移住・定住に関する問い合わせはこちらへ気軽に相談してください

三原市 経営企画部 地域企画課 企画調整係
〒723-8601 広島県三原市港町 3-5-1
TEL:0848-67-6011 FAX:0848-64-7101
受付時間：8：30～17：15（土曜、日曜、祝日、年末年始は除く）



ハビネスな移住・定住ライフスタイル /
すんでみはら。
(三原市移住ポータルサイト)



三原市のLINE・Facebookはこちらから



令和4年3月発行

広島県 三原市 移住・定住 ガイドブック

Just right! /
住んで実感
“ちょうどいい”が
心地いい



人懐っこくて
温かい
みはらびと



移住・定住に
関する
支援制度



遊び方無限
多彩な
自然スポット



新鮮で
美味しい食材が
いっぱい



子育てに
優しい環境と
制度充実



利便性が高い
コンパクト
シティ

Just right!
 “ちょうどいい”が心地いい
 みはらびと

移住者と在住者が寄

訪れる人を温かく迎え入れ、新しい挑戦を地域の

り添いながらともに暮らす。

みんなで応援しながらサポート!



Q. 現在の活動や仕事は?

(松岡) 移住後の3年間は地域おこし協力隊として活動。食に興味があったので、まず初めに鷺邸でお手伝いを始めました。島の特産品について知ったり、今まで知らなかった野菜や調理法を学んだり、いろんな人と出会うことができました。

令和3年3月に地域おこし協力隊の任期を終え、現在は小佐木島にある宿泊施設の社員として広報・企画に携わっています。また、個人事業主としても活動しており、「鷺島みかんじまプロジェクト」の共同代表として佐木島の島おこしに取り組んでいます。ECサイトの管理や更新、特産品であるみかんを使った商品開発、空き家や耕作放棄地の活用など。業務は多岐にわたりますが、島の人たちがいてくれるからこそ、新たなことに挑戦できます。

(白須) 鷺邸で提供しているみかん大福や島のかんきつ類を使ったジャムもプロジェクトから生まれました。松岡さんは何でも興味を持って、取り組んでくれるがんばり屋さん。娘のようにかわいい存在です!



島の特産品のかんきつ畑で作業を手伝うことも。



Q. 佐木島での暮らしで印象に残っていることは?

(松岡) 耕作放棄地を活用して二匹の羊を飼っています。草を刈って整地したり、小屋を建てる際は、島の人たちがどんどん手伝ってくれました。新たなチャレンジを応援し、一緒に取り組んでくれる島の人たちのぬくもりを感じた出来事。羊はプロジェクトの象徴であり、人とのつながりの象徴でもある大切な存在です。小屋の掃除や水換えなど、羊の世話はプロジェクトのメンバーや島内のボランティアの方が交代でして、羊毛を使ったワークショップやイベントも開催しています。また、オンラインみかん畑ツアーなども開催しました。

(白須) 平成30年に豪雨災害が発生。島の水道が止まってしまっても大変な中、移住したばかりの松岡さんが島民のためにがんばってくれたことを覚えています。良い子が来てくれたなとうれしかったな。

Q. これから挑戦したいことは?

(松岡) 農業従事者や後継者を増やしていくために、島の魅力を外に向けてもっとPRしていきたいです。農業はもうからないというイメージがあるかもしれませんが、食材を加工することで付加価値をつけ、発信していくことでネガティブなイメージを変えていきたいです。

(白須) 鷺島みかんじまプロジェクトを通して、人とのつながりが増え、島を好きになってくれる人が増えるといいですね。

(松岡) クラウドファンディングで資金を集め、佐木島産の「島たまご」を育てる養鶏の環境整備を進めています。直売所と飲食店を兼ねた「鷺島みかんじまファーム」の設立もめざしています。

(白須) 鷺邸を始めてから、いろんな人と出会えるようになり、若い人との時間を楽しんでいます。島に住みたいと相談してくれる人が来てくれるのもうれしいですね。若者がどんどん増えて、島のために新たなプロジェクトにどんどん取り組んでほしいです。この島の担い手を育てていくことが私の仕事。これからも移住者を受け入れていきたいです。



1日のスケジュール
 <島で仕事する日>

6:30	起床・朝食・家事など
9:00	自宅で仕事開始 ECサイトの登録や活動報告の文章作成など
12:00	昼食
13:00	農家の人と打ち合わせ 商品や金額など
14:00	自宅に戻って仕事
16:00	羊の世話
17:00	自宅で仕事
18:30	夕食 メールチェック、連絡など Youtube鑑賞
0:00	就寝



佐木島は、30年以上の歴史を誇るトライアスロン大会が開催される島でもあります。

[移住者]
 まつおか
松岡 さくらさん(27)
 [移住歴]5年目/兵庫県より移住
 (株)NAVELマネージャー/
 鷺島みかんじまプロジェクト共同代表

[在住者]
 しらす かつこ
白須 克子さん
 佐木島出身
 島時間「鷺邸」のオーナー

Q. 三原市に移住したきっかけは?

(松岡) 学生時代はアフリカで医療・教育・農業分野に関わるボランティアやコンサルティング会社でのインターンを経験しました。卒業で地方暮らしの豊かさについて研究するため初めて佐木島を訪れ、大学卒業後に地域おこし協力隊として移住。佐木島を選んだ理由は、なんといっても人の良さ。地域の人に溶け込むのは簡単なことではありませんが、佐木島の人たちは気軽に話しかけてくれたり、何か新しいことに取り組むときは手伝ってくれるなど、よそ者を受け入れてくれる温かさ

を感じられたからです。
 (白須) 松岡さんとの出会いは、平成29年に開催されたイベント。鷺邸の出店ブースを手伝ってくれました。その後、卒論研究のために佐木島を訪れたときも、宿泊先として鷺邸を選んでくれたんです。
 (松岡) 白須さんは「1人ではさみしいでしょう」と、自分の家にも泊めてくれましたよ。
 (白須) 初めて会ったときの松岡さんは遠慮がちだったけど、島で暮らすうちにどんどん社交的な面が見えてきて。移住後は鷺邸で料理を手伝ってくれたり、一緒に過ごす時間が増えました。

一軒家でのびのび子育てしたくて結婚を機に移住しました。人が温かくともいい所です。20代・女性・さとやまエリア

三原市の人柄の良さが移住の決め手になりました。日常の買い物も便利で、生活はノンストレス! 30代・男性・まちエリア

空港が近く、交通や買い物も便利で快適。家賃や住宅購入時の助成金も決め手に! 40代・男性・まちエリア

関東に野菜を卸しているので空港が近くとても便利。野菜の育て方を教えてくれる地域の方は家族のようです。30代・女性・さとやまエリア

広島市や関西へ行き来がしやすい佐木島に決めました。家の前に畑がある広い物件も決め手の一つ。60代・男性・しまエリア

[在住者]
 むらかみ ともこ
村上 朋子さん(40)
 [移住歴]15年目
 さとやまエリア
 三原市地域支援員



自然豊かな大和町でさとやま暮らしを満喫
 結婚を機に、夫の勤務先がある大和町に移住。育児をしながら、果樹園のお手伝いや介護施設でのデイサービス、カフェの接客など色んな職に携わる傍ら、料理教室やマルシェへの出店などもしていました。現在は三原市地域支援員として、空き家案内やイベントの事務局、特産品を使った商品開発など、大和町の活性化にかかわり、充実した日々を送っています。

移住・定住に関する支援制度



地域企画課では
オンライン移住相談も受付中！
移住相談申込や
支援制度の詳細は
こちらから



訪問 検討段階からの支援制度も充実！



まずは訪問！宿泊費やレンタカー利用料を補助
実際に滞在し、仕事や住まいを探したり、事前に生活体験することで、移住後の暮らしをイメージできるよう、宿泊費用の一部を補助します。また、移住希望者が市内視察をするための交通手段としてレンタカーを利用する場合の利用料も補助します！
(お試し暮らし滞在費補助金)



“みはら暮らし”を体験
移住希望者が生活体験、移住準備のために滞在可能なお試し住宅の貸し出し。日常生活を営むための家具、電化製品などの備品付き！
(お試し住宅)

来訪時の交通費を支援
東京圏に住んでいる人を対象に、広島県への来訪の際の交通費を支援します。
(片道交通費支援制度)

住まい 生活拠点づくりの支援制度



新婚世帯の新生活を応援
新婚世帯を対象に、住宅購入、家賃、引っ越し費用、リフォーム費用を最大30万円補助します。また、移住新婚世帯には、最大70万円の補助となります！
(結婚新生活支援事業補助金)

空き家を紹介
市内にある売却や賃貸を希望されている空き家の情報を登録し、その情報を、利用を希望する方に紹介します。
(空き家バンク)



住宅取得を応援
住宅の新築、購入に対する費用を最大100万円補助します。移住世帯の場合は、所在地条件なし。
(ファーストマイホーム応援事業補助金)

自分好みの生活空間に
空き家バンクに登録された物件を対象に、市外からの移住者に対して空き家の改修費用を補助します。
(空き家改修等支援事業補助金)

起業 新規事業者や空き店舗活用を支援！



空き店舗を活用した新規出店を補助
商業の活性化を図るため、空き店舗などを活用した新規事業者や既存店舗を改装し事業を継続する事業者などに対して、一部を補助します。
(地域商業活性化支援事業補助金)

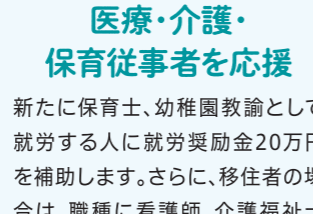
中心市街地の空き店舗活用を補助
中心市街地内(城町、本町、館町、港町および円一町)の空き店舗などを活用した新規事業者や、既存店舗を改装し事業を継続する事業者などに対して、一部を補助します。
(中心市街地魅力向上支援事業補助金)



サテライトオフィス進出を応援
建築家 隈研吾氏監修でリノベーションされたお試し用サテライトオフィスを提供。また、サテライトオフィス開設に係る経費の一部を補助します。
(サテライトオフィス等に関する補助)

創業を応援
三原で新しく事業を始めたい人やお店を持ちたい人など、創業を予定されている人の創業相談窓口です。
(みはら創業応援隊)

就職 求職者の支援制度も充実！



医療・介護・保育従事者を応援
新たに保育士、幼稚園教諭として就労する人に就労奨励金20万円を補助します。さらに、移住者の場合は、職種に看護師、介護福祉士などを加えた新規就労者を対象に、住宅購入、家賃、引っ越し、養育費用を最大46万円補助します！
(就労・移住定住支援事業補助金)

就農 自然に囲まれて自分らしい働き方を！

就農希望者の研修支援
市内で独立自営就農をめざす方に研修支援を行い、独立を応援！
(新規就農者研修支援事業)

三原市がランキング県内1位になりました!!
「若者世代・単身者、シニア世代が住みたいまち部門」
株式会社宝島社 「田舎暮らしの本」2022年2月号
2022年版第10回「住みたい田舎」ベストランキング

Jデスクみはら
就職合同企業説明会、Uターン就職の相談OK!ハンドブックもチェック!

東京圏からの移住者支援
広島県求人情報サイト「ひろしまワークス」に掲載された求人就業した東京圏からの移住世帯に最大100万円補助します！
(移住支援事業)

新規農業経営者を応援
新たに農業経営を営もうとする若者が対象。認定を受けた「認定新規就農者」にはさまざまな支援があります。
(認定新規就農者「青年等就農計画制度」)



豊かな自然が育む食材。

とれたて野菜や海の幸が気軽に手に入る!

魅力あふれる生産者と食材がいっぱいです!

温暖で晴天の日が多く、雨量が少ない瀬戸内式気候の三原市は、海と山があり食材に恵まれた地域です。一年中楽しめる果物、さまざまな新鮮野菜も身近にあり、鶏肉や鶏卵も地域の自慢。タコやサワラ、小エビや小魚類も味わい深く、ワカメやヒジキなどといった海の幸も豊富です。沖縄に15年間移住し、故郷である三原にUターンした私が思うのは、「何と食材にあふれ、チャンスにあふれた地域なんだ!」という驚きと感動。私は50歳になる年で起業しましたが、三原にはまだまだ未開拓の魅力とチャンスがいっぱいです!



もりつか かよこ
森塚佳世子さん
体験型八百屋「COCOLA3〜ココラサン〜」オーナー
地元食材の販売、商品の企画開発、イベント企画など、農産物を通じた地域活性化に取り組む。

森塚さんのおすすめ食材



かんきつ類
太陽と海からの反射を浴びる瀬戸内海に面した幸崎・糸崎・木原・佐木島などでは、味の良い柑橘類が収穫されます。



美～なす
ジューシーできめ細かな肉質が特長の中長ナス。ブランドナスの先駆的存在で、煮てよし!焼いてよし!



仏通寺ぶどう
寒暖差のある高坂では50年以上前からブドウ栽培が行われており、さまざまな品種のブドウが楽しめます。



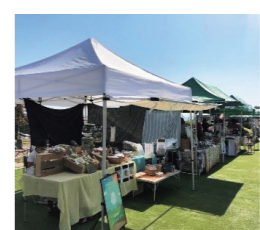
里芋
里芋の栽培に適した小泉町で栽培。しっとり&ねっとりとした食感が一度味わったら忘れられないおいしさです。

他にも、完熟苺・レンコン・イチジク・ワケギ・米など、旬に合わせてさまざまな地元食材がいつでも食べられます。

「おいしい」「新鮮」「楽しい」がいっぱい産直市やマルシェにでかけよう!



瀬戸内みはら 美味しいマーケー
三原市とその周辺地域の飲食店や生産者のブースが並び、ローカルフードマーケットを開催しています。



集MARU〜ツドマル〜
空の駅オーチャードで随時開催されるマルシェイベント。地域の「美味しいモノ・ええモノ・ええコト」が集結。ほかに注目の催しがめじろ押し!

道の駅&産直市
道の駅みはら神明の里、道の駅よがす白竜、JAなどの産直市には、地元食材がずらりと並びます。

有機農家の収穫祭
昔ながらの作り方にこだわる有機農家が多く出店する、年に一度のイベント。色とりどりの野菜やフード、ハンドメイド雑貨などもあります。

なかその ゆいか
中園唯花さん
地域おこし協力隊 / 佐木島の古民家で地域食材を使ったパン作りを計画
インスタグラムで佐木島をはじめ三原の魅力を発信中!私も参加しています!ぜひチェックしてみてください!
@sagigram.2021

とれたての新鮮な食材が、地域のお店やイベントなどで手軽に購入できるのが魅力。



Just right!
 “ちょうどいい”が心地いい
 みはらであそぶ



オトナも子どもも

空へ！海へ！山へ！まちへ！大自然を

楽しめるおでかけスポット。

身近に感じる遊び場やまちなかの公共施設がいっぱい。

#きてみて
三原
 詳しくは、
 「#きてみて三原」を
 ご覧ください！



1 八天堂ビレッジ

カフェ・ショッピング・パン作り体験ができる「八天堂カフェリエ」、工場見学が楽しめる「広島みはら臨空工場」、さまざまな地元産品を購入できる「空の駅オーチャード」などが集まった体験型の食のテーマパークです。
 ●三原市本郷町善入寺用倉山10064-190



2 宇根山天文台

備南最高峰、宇根山に建つ天文台。
 60cm大型反射望遠鏡や15cmの屈折望遠鏡、プラネタリウムなどが楽しめます。
 ●三原市久井町吉田10370-28

そらレジャー

自転車競技の聖地!!



3 中央森林公園

日本庭園「三景園」と公園センターを中心に、サイクリングロード、運動広場、バーベキュー広場などに分かれた公園。
 ●三原市本郷町上北方1315



7 果実の森公園

イチゴ、桃、梨、ブドウ、リンゴなど1年を通して果物狩りが楽しめる観光農園。ジェラートやジャムなどの加工品も人気。
 ●三原市大和町大草20075-28

やまレジャー



8 白龍湖観光農園

梨、イチゴ、ブドウ、ブルーベリー、さくらんぼを栽培する観光農園。カフェで提供される果物たっぷりかき氷も要チェック。
 ●三原市大和町大草398



9 宇根山家族旅行村

オートキャンプサイトはもちろん、バーベキューができるバーベキューサイトやビッグオートキャンプサイトなどを備えたキャンプ場。
 ●三原市久井町吉田10385-4



休日は家族みんなでキャンプ♪

うみレジャー



6 瀬戸内海国立公園 筆影山・竜王山

筆影山は、儒者・詩人の頼山陽が、海に映ると山の形が筆の様にみえることから命名したと伝わる山。標高311mの展望台から眺める多島美は瀬戸内海随一の呼び声高く、春には約2,000本のソメイヨシノが咲き誇り、冬には海霧を見ることができます。また、その南西に位置する標高445mの竜王山からは、天気の良い日には四国山脈まで見渡せます。
 ●三原市須波町・沖浦町



5 三原市 すなみ海浜公園

海とふれあいを大切にしたレクリエーションゾーン。海水浴を中心に、砂遊び、緑地広場など、多目的に楽しめます。
 ●三原市須波西1-7-1



穏やかな海で潮風を感じながら遊べる!



釣りスポット

須波港や糸崎エリアなど釣りスポットも充実!

スキー・スノボは日帰りで行ける!



10 白龍湖スポーツ村公園

白龍湖に隣接する総合運動公園。さまざまな屋内外競技が楽しめます。
 ●三原市大和町和木1026-3

まちレジャー



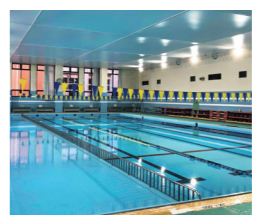
11 三原市芸術文化センターポポロ

緑あふれる芝生に囲まれた文化施設。音の響きが良い音楽ホールでは、年間を通してさまざまなコンサートが開催されています。
 ●三原市宮浦2-1-1



12 キオラスクエア/中央図書館

図書館や広場、商業施設、ホテルなどが集まったJR三原駅前のにぎわい創出拠点。エリア内にある中央図書館は、親子で楽しめる絵本コーナーや学習室、談話スペースなどがあり、さまざまな過ごし方ができます。
 ●三原市城町1-3-1



13 三原リージョンプラザ

展示ホール、文化ホール、温水プール、体育館がある複合施設。スポーツ教室が充実。
 ●三原市円一町2-1-1

14 やまみ三原運動公園

大人も子どもも楽しめる運動公園。2022年春に大型遊具をリニューアル!
 ●三原市沼田町東釜山10253-1



隣は尾道市です

海沿いの道はとっても開放的!

マリンスポーツもできる!

道の駅

15 道の駅 みはら神明の里

瀬戸内海の多島美が一望できる、眺望抜群の道の駅。三原の漁協から毎朝仕入れる鮮魚や地元食材を使った料理を提供しています。
 ●三原市糸崎4-21-1



16 道の駅 よがんす白竜

白龍湖の湖畔に建つ、美しい洋風建築の道の駅。地元の農産物がそろった産直市場や食材にこだわった創作イタリアン、地元の果実を使ったスイーツも人気。
 ●三原市大和町和木652-3



Just right!
 “ちょうどいい”が心地いい
 みはらの子育て

子育てや教育の先進

子育て世代にうれしい施設や教育環境を整え、

地域をめざしています!

あなたらしい子育てをサポートします!

出産・子育て

子育てに悩んだらここ! 子育て世代包括支援センター「すくすく」

三原市子育て世代包括支援センター「すくすく」は、妊娠期から子育て期にわたるワンストップ相談拠点です。ママはもちろん、ご家族の人々のさまざまな相談に対して、保健師・助産師・保育士・家庭児童相談員などの専門職がフォロー。電話やメールのほか、家庭訪問・面談などを通して、安心して妊娠・出産・子育てを行うことができるようサポートします。教室や各種講座も実施。



いつでも遊べる、交流できる屋内施設! 児童館「ラフラフ」

令和2年8月にオープンした新しい児童館。18歳までの子どもと保護者なら誰でも予約不要で利用できます。授乳スペースやおむつ替えコーナーを備えた乳幼児ルームのほか、三原の海をイメージしたボルダリングコーナーがある遊戯室、大型の鏡の前でダンスや演劇の練習ができるスポーツ室、座っておしゃべりが楽しめる談話ホール、学習室や図書コーナーなど、子どもたちの意見を聞きながら一緒に作り上げました。



教育・保育

待機児童ゼロ! 多彩な教育・保育施設が充実

三原市には、保育所・認定こども園・幼稚園から小学校、中学校、高校、大学まで多彩な教育環境が整備されています。休日・病後児保育施設もあり、放課後児童クラブは6年生まで利用できるなど、働く保護者の就労支援も充実。市立小・中学校では、地域の自然・歴史・文化を教材にした体験学習や学校行事も行なっており、三原ならではの教育を受けることができます。

待機児童ゼロ!
 三原市の教育・保育施設
 (令和4年4月時点)

幼稚園 11園	保育所 12所	認定こども園 11園
小学校 22校	中学校 13校	高校 5校
大学 1校		

自然豊かな離島で学べる! 特認校の鷺浦小学校

小規模校入学特別認可(通称:特認校)制度とは、豊かな自然環境に恵まれた小規模の小学校を対象校とし、きめ細かな学習指導や自然環境を生かした体験学習・交流活動などを通じて豊かな人間性を培うことができる学校のこと。三原市では、瀬戸内海に浮かぶ佐木島にある鷺浦小学校が対象となっています。英語教育の充実や島の資源を生かした体験など、特色ある魅力的な教育活動が展開されています。



全ての児童クラブが 6年生まで利用できる!



保護者が仕事をしている家庭の小学生が利用できる放課後児童クラブ(学童保育)。三原市内には36カ所のクラブがあります。令和4年4月時点の待機児童はゼロ!

子どもの本も充実! 市内4カ所の図書館



児童書や絵本をはじめ、子育てやビジネス関連も充実。幅広い世代の人が楽しめます。コミュニティセンターや各公民館でも図書の貸し出しをしています。

子育てに関する 情報を集約!



三原市の子育て情報を分かりやすくスピーディーに発信するWEBサイト。また、子育てに関するあらゆる情報をまとめた冊子「三原市子育てMybook」も毎年発行しています。

WEBサイトからダウンロード!

三原市立小・中学校 GIGAスクール



全小中学校にICT機器と校内高速無線LANを整備。子どもたちが1人1台のICT端末(クロームブック)を使って学んでいます。

地域が学びの舞台に 甲冑行列も!?



各学校では“地域”が学びの舞台になることもあります。本郷小学校では、市ゆかりの武将・小早川隆景について学び、甲冑姿で町を練り歩きました。

地元企業とコラボ 授業で商品開発!



複数の学校が地元企業・団体と連携し商品開発に取り組んでいます。糸崎小学校では、くりむパンで有名な八天堂とプリンを共同開発しました。

医療

市民の健康をサポート! 充実した医療体制

病院12カ所、診療所70カ所、歯科診療所52カ所。新医療機器を導入し、高度で充実した医療を行なっている総合医療機関のほか、小児科の祝日当番医制、夜間・休日の初期救急医療体制など、医療体制が整っています。

医療費助成が充実! 中学生まで1回500円!

三原市在住の中学生までの子どもは、病院で支払う医療費が1回当たり最大500円まで!さらに、院外処方の場合の薬代は無料!三原市は子どもの医療費助成制度が充実しています。※保護者の所得制限があります。

スポーツ・文化・芸術

楽しみながら学べる スポーツ少年団

子どもたちはスポーツを楽しみ、野外・文化・社会活動などを通じて社会のルールや思いやりの心を学んでいます。※大人の人も加入したい場合はスポーツ振興課へ相談してください。

地域活動を発信! つなごうねっと

市内で活動しているさまざまな市民活動団体の活動内容やイベントを紹介しています。このサイトを通して、団体情報の検索やイベント参加の申し込みなどができます。



Just right!
 “ちょうどいい”が心地いい
 みはらの暮らし

理想の暮らしを叶えら

ほどよく田舎でほどよく便利だから、自分らしい

れるコンパクトシティ。

ワークライフバランスが実現できる!

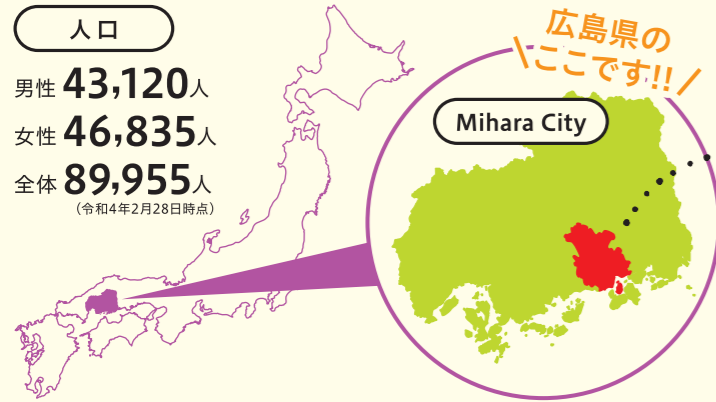
広島駅まで新幹線で約30分
 福山駅なら新幹線で約20分
 車でも行けて
 近隣とのアクセスも良い!

三原市ってどんなところ? //////////////



瀬戸内海の温暖な気候と豊かな自然に囲まれた穏やかで暮らしやすいまち。陸・海・空の玄関口です。また、やっさ祭りや神明市といったローカルな祭り・イベントが多いのも特徴。まちで、しまで、さとやまで…。自分らしい豊かなライフスタイルをかなえてくれる懐の深いまちです。

三原市はどこにあるの? //////////////



三原のしごと //////////////

事業所数	従業員数
全体 4,654 所	全体 46,798 人
1位 卸売り・小売業 24.1%	1位 製造業 24.4%
2位 サービス業 20.9%	2位 医療・福祉 17.7%
3位 飲食・宿泊業 11.3%	3位 卸売り・小売業 15.9%

(資料)「平成26年経済センサス基礎調査結果」(総務省統計局)を加工して作成

サービス業、卸売り・小売業など、多彩な業種がバランスよく集積。ハローワークやUターン就職希望者への情報提供や、創業支援ワンストップ相談窓口などの支援も充実。山あい地域での仕事環境を体験できるお試しサテライトオフィスも提供しています。さらに、農業や漁業の新規就業者に対する研修や支援も実施しています。



毎月1日発行
広報みはら

広報みはらでは、まちの話題や生活・イベントなどの情報を発信しています。三原市のホームページやスマートフォン用無料アプリ「マチイロ」で、広報みはらの記事を配信しています。

交通の要衝 //////////////

飛行機	新幹線	高速船
羽田空港 ↓ 広島空港 約 85 分	新大阪駅 ↓ 三原駅 約 90 分	博多駅 ↓ 三原駅 約 100 分
		三原港 ↓ 鷺港 約 13 分

JR新幹線や在来線、山陽自動車道、三原港、須波港、広島空港といった陸・海・空の交通機関が集結。広島県の交通インフラの中心となっています。都市圏へのアクセスはもちろん、広島空港にはアジア各国への国際線も定期就航しており、利便性が高いのもポイント。

さとやま・まち・しまエリア ////////////// 3つのライフスタイルが選べるまち

さとやま暮らし

きれいな空気と水に恵まれたさとやま暮らしは中心部から車で約30分。美しい自然と澄んだ空気、緑豊かな田園風景が広がるエリアでのんびりと田舎暮らしを堪能することができます。生活に必要な食品などの買い物は中心部まで出なくてもさとやまエリアでそろうので、田舎過ぎず暮らしにはちょうどいい所です。野菜やお米作りが盛んで、家庭菜園を楽しみたい人から新規就農をめざしている人にもオススメです。

まち暮らし

JR三原駅は在来線と新幹線が発着し、通勤・通学はもちろん出張にも便利な中心部。また、駅周辺には、新しくできた図書館、児童館、市民大学など、多世代が集まる環境が整備され、ショッピングセンターやコンビニも多数! 駅周辺には、地元食材を使った飲食店もあり、城好きにはたまらない三原城跡や城下町として栄えたかつての面影を感じられるお寺・神社が点在しているのも特長です。また、年間を通してさまざまな祭りが開催されるのも特徴で、楽しみ方自在のエリアです。

しま暮らし

瀬戸内の離島暮らしも新幹線駅から徒歩と高速船で約30分(高速船やフェリーで本土までは約15分)。日本一新幹線の駅から近い離島「佐木島」では、自然や地元の人とのつながりを感じられる心豊かな暮らしが待っています。ほどよい距離感で暮らせるのも魅力! 特産品は、島の至る所で見かける、味が濃く、酸味と甘みのバランスがよいと評判のかんきつ! もう1つの目玉は、30年以上の歴史を誇るトライアスロン大会が開催される島なのです。1年で一番熱くなる夏は選手も観光客も島人も熱くなる、超ホットな島です。